

C-19 和服構成の諸要因 (その1) 長じぼん地の物理的性能と縫い目強度  
大妻女子大家政 木野ゆ清子 ○金谷喜子

目的 和服地の性能については、異質、同織の材料が得がたく、比較的資料が少なく、今後、更に着用実験を行うための基礎データとして、本実験を試みた。

方法 実験材料 市販長じぼん地 絹・ポリエステル製の紋織・平織の4種類 (各10%)  
実験項目 ① 長じぼん地の物理的性能 収縮度・破断強度、伸度・伸長弾性率・剛軟度・防しわ度・平面摩擦強度・平面摩擦係数など8項目 ② 背・脇縫いの縫い目強度について (1) 背縫い A. 合わせ縫い、B. 二度縫い、C. 合わせ縫い・折りぐけ、D. 背伏せ布つけ (2) 脇縫い I. 二度縫い折りぐけ、ロ. 合わせ縫い、押しえ縫い耳ぐけ、ハ. 折りぐけ、折りぐけ の6種類

結果 ① については、破断強度・収縮度において絹が犬、防しわ度・剛軟度においてポリエステルが犬、他は経・緯地および織り方によって差がある。② については、 $C > D > B > A$ 、 $I > ロ > ハ$  の結果が得られた。